

No.2387

房総陽だまりハイク 2

伊予ヶ岳・富山

実施日 2009年2月8日(日)
天候 快晴
リーダー 涌井 良明
参加者 上野キヨ、渡辺清、佐藤金治、
山口俊三、岩井康子、涌井良明
計6名
費用 JR6,380円(新宿起点)
市営バス200円 計 6,580円
タイム 岩井駅(9:54~10:00 バス)天神郷(10:15~10:20)富山分岐(10:50)伊予ヶ岳南峰(11:20~11:25)伊予ヶ岳北峰(11:33 昼食12:07)富山分岐(12:37)富山入口(13:35~13:40)富山北峰(14:15~14:25)富山南峰(14:40~14:50)岩井駅(15:50~16:09)

岩井駅からスクールバスのような黄色いトミーに乗って15分程で天神郷の平群天神社の鳥居前に着く。

伊予ヶ岳遊歩道入口と道標もある。りっぱな夫婦クスノキを見て、神社の



脇を抜け伊予ヶ岳の道に入る。良い道がゆるく登り始める、竹林を抜け親切?に階段が設置されている

登りを行く、さすが遊歩道である。

富山への分岐を過ぎると東屋のある展望台に着く。山頂が頭上に被さるように迫っており、ここから道の様子が今までとは一変する。すぐにロープの下がった急斜面になり、その先もロープ、クサリ

場が連続する、それほど長く続かないが、多少の緊張とお楽しみが味わえる。ロー



プ道がなくなると崖の上といった感じの伊予ヶ岳南峰に着く。360度の大展望が雲のかけらもないスカイブルーを背景に広がっている。遙かに浮かぶ富士山



始め、これから向かう富山の二つのコブも仲良く鎮座している。房総のうねりや小さな町並みが箱庭のように見え、春ウ

ララの好ましい眺めである。此処から10分程進み三角点のある北峰に着いたところで昼食にした。

食後、南峰直下のロープを慎重に下り、分岐まで戻り富山に向かう、やはり階段状の道を下り道標に従うと舗装路に出る。前方の富山の盛上がりに向かって進むが道脇のあちらこちらにスイセンが盛りであり、おまけに咲き始めた梅も彩りを添えている。

町中の道は多少分りづらいたころもあるが、富山に向かって少しずつ登って行く、要所には道標もある道は山



頂直下のちょっとした広場になっている富山鞍部まで舗装がされていた。

右に北峰に向かい階段を登り切ると樹林の中に山頂標識があり、山頂広場には立派な展望台がある。ここからの展望も素晴らしく、光る海が印象的であった。

鞍部まで戻り、南峰へ向かう、下山道分岐を過ぎ僅かで仁王門跡の石段を登り観音堂の左側の上が南峰だったが、テレビ中継のアンテナが占領しており展望も得られなかった。

先程の分岐から下山になるが、相変わらずの階段道である。皇族一家も訪れたので整備がされているのであろう。伏姫籠穴は時間の関係で通過し、岩井駅に戻り本日の歩きは終了です。オツカレサマデシタ。

(記&写真・涌井 良明)